

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表！ 『スズキ・GSX-S1000 ABS』が首位を獲得！

対象期間 2016年3月～5月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2016年3月～5月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。17回目となる今回は「スズキ・GSX-S1000 ABS」が首位を獲得しました。

◇『スズキ・GSX-S1000 ABS』 が首位獲得！

◇大型車種が巻き返し。バイクシーズン到来で趣味性の高い車種が有利か。



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	回数	メーカー・車種	リセール・プライス
1	2	スズキ・GSX-S1000 ABS	83.8Pt
2	6	カワサキ・ZRX1200 DAEG	77.6Pt
3	9	ホンダ・モンキー	76.9Pt
4	6	ヤマハ・SEROW250	74.5Pt
5	3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	74.4Pt
6	5	ヤマハ・MT-07	74.0Pt
7	2	ヤマハ・MT-07 ABS	73.2Pt
8	初	ヤマハ・SYGNUS-X SR	73.1Pt
9	3	ヤマハ・MT-09 TRACER ABS	71.8Pt
10	初	ホンダ・ジョルノ	71.6Pt

◇対象期間 2016年3月～5月

17回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『スズキ・GSX-S1000 ABS』が2位に6.2pt差を付け首位に輝きました。

スズキ・GSX-S1000 ABSは、スーパースポーツのGSX-R1000のエンジンをストリート向けにチューニングしたものを搭載。ベースエンジンがロングストロークということもあり全回転域でスムーズな出力特性が得られ、扱いやすいセッティングになっています。また、スーパースポーツ譲りの鋭い加速も併せ持っており、ストリートはもちろんワインディングでも最高のパフォーマンスを発揮するバイクです。

今回のランキングは、前回（2015年12月～2016年2月）と比べ、大型バイクが占める割合が高くなりました。この要因として、春のバイクシーズンに向けて高まっていたエントリー層からの需要が一段落し、前回ランクインしていた中小型車種のリセールプライスが下がったことが考えられます。また、本格的なバイクシーズンが到来し、より趣味性の高いといわれる大型車種がランキングに占める割合が高まったと思われます。

各地でイベントや試乗会が開催される中、今後のランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？

引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・モンキー	76.9Pt
2	ヤマハ・SYGNUS-X SR	73.1Pt
3	ホンダ・ジョルノ	71.6Pt
4	ヤマハ・NMAX	70.7Pt
5	ホンダ・クロスカブ	70.0Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SEROW250	74.5Pt
2	ヤマハ・YZF-R25	67.8Pt
3	ホンダ・CRF250L	67.2Pt
4	ヤマハ・YZF-R25 ABS	67.0Pt
5	カワサキ・Ninja250	66.2Pt

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	74.4Pt
2	ホンダ・CB400 SUPERBOLD'OR	69.6Pt
3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	67.8Pt
4	ヤマハ・SR400	65.6Pt
5	ホンダ・CB400 SUPERBOLD'OR ABS	65.2Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	スズキ・GSX-S1000 ABS	83.8Pt
2	カワサキ・ZRX1200DAEG	77.6Pt
3	ヤマハ・MT-07	74.0Pt
4	ヤマハ・MT-07 ABS	73.2Pt
5	ヤマハ・MT-09 TRACER ABS	71.8Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2016年7月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間11.7万台の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2016年7月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2016年7月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史